



4速スイングアーム・フレームのまま、リジッドを思わせるシルエットで車体を構成。ワンオフのカンチレバー・サスを備えている。

SURE SHOT 1980 FLH BOBBER

文=黒川鎮仁 text by TED KUROKAWA 写真=伊藤潤一郎 photographs by JUNICHIRO ITO
取材協力=シュアショット phone 043-312-0900 <http://www.sureshot.jp>

ショベルヘッド純正の4速スイングアーム・フレームをベースに、シックな趣きのボバーへとカスタムされたこのマシンは、千葉県八街市にあるショップ、シュアショットによって製作された一台。元々はリジッドフレームのシルエットに強い憧れを抱いていたオーナーからの注文ではあったが、腰痛を患っていたことからリジッドを断念、その結果、サス付きの4速フレームで極力ナローかつオールドックな趣きのボバーを創るプロジェクトがスタートしたという。

ベースであるFLHの雰囲気をも幾分残しながら、シックで大人びた雰囲気仕上げられたルックスは、キャブやステップ以外はすべてフロントフォークの幅の内にまとめるというナローなセットアップとし、リアのスイングアームをワンオフで製作したカンチレバー・サスを介してマウントするという凝った演出と造り込みが果たされている。

旧く趣のあるボバーを意識しつつ、巧みに独自性を打ち出したその出来映えには、創り手の粋な感性が顕れている。

①エンジンは1980年のFLH80。クラシクのパラシクからリビルドを施し、点火にはダイナ2000I。キャブにはミクニVM29を二連装している。②デュオグライドのスイングアームを使いカンチレバー・サスを組んだリアレック。車高調整機能も備える。③ナローかつシングルにまとめられたハンドル周り。シックでアダルトな風合いを醸す。④φ41mmのグライドフォークをナローのアジャストツリーにマウント。ヘッドライトにも趣が有る。⑤ホルド性を意識し、質感を高めたSTUDIO WOKINI製のシートは柔らかさを求めて馬革を使用する。⑥プライマリーは2°のオープン。ステップ位置はミッドに変更している。



